

News Release

2021年3月吉日

お客様各位

株式会社名門大洋フェリー

新造船「命名・進水式」開催のお知らせ 2021年5月13日（木）

平素は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

掲題の件、大阪南港～北九州・新門司港間でフェリーを運航する株式会社名門大洋フェリー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：野口 恭広）では、5月13日（木）午前9時55分、三菱重工業株式会社 下関造船所において、下記のとおり、2021年12月就航予定の新船の「命名・進水式」を執り行います。

記

1. 日 時 : 2021年5月13日（木）9:55～
2. 会 場 : 三菱重工業株式会社 下関造船所 江浦工場 船台
3. 内 容 : 命名・進水式
4. 船舶概要 : 2021年12月、2022年3月に大阪南港～北九州・新門司港間の航路に代替投入される新造船2隻（「独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構」共有船）の1番船です。

| | |
|-------|---|
| ＜主要目＞ | (1) 2002年就航「フェリーきょうとⅡ」の代替船 |
| | (2) 全長・全幅 195m・27.8m（被代替船167m・25.6m） |
| | (3) 総トン数 約15,400トン（被代替船9,770トン） |
| | (4) 車輛積載台数 トラック（12m換算）約162台（被代替船 約108台） 乗用車約140台（被代替船 約145台） |
| | (5) 旅客定員 675名（被代替船692名） |
| | (6) 就航時期 2021年12月 |

<特 長>(1) 省エネ船

- ・ハイブリッド型推進方式、空気潤滑システムならびにアジマススラスタ等
の採用で省エネを実現

(2) 環境負荷低減

- ・スクラバーの採用で排ガス中のSO_x（硫黄酸化物）を低減

(3) 貨物ユーザーに向けたサービス強化

- ・トラック積載台数の増加
- ・二層同時荷役方式の採用で荷役時間を短縮
- ・ドライバーズルームの個室化と増室

(4) 乗船客に向けたサービス強化

- ・乗船客の利便性向上のため、旅客甲板に乗用車用積載スペースを確保
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、抗ウイルス・抗菌加工をはじめ、
客室はカーペット敷き大部屋を廃止しベッド化
- ・船体の大型化による広々とした公共スペースと開放感のある展望レストラン、
展望浴室、展望ラウンジ
- ・個人客のニーズに合わせシングルルームとツインルームを増設し、トイレ・
シャワー付きツインルームを新設
- ・ファミリー客のための授乳室、キッズルームの新設
- ・女性客のためのパウダールームの新設
- ・電気自動車用充電器の設置
- ・エレベーターを2基設置（既存船「フェリーきょうとⅡ」1基）

(5) 船内デザインコンセプト

- ・日本の情緒を感じさせる「古都のたたずまい」を基本コンセプトとして、
次世代の“CITY LINE”にふさわしいデザインとしています。